

ウィメンズヘルス・メンズヘルス理学療法部門

COVID-19 に対する理学療法関連情報

《産前産後理学療法に関する海外情報 Vol. 2》

【日本語タイトル】

ケアをする人のケア：世界的パンデミックの中における質の高い産科ケア体制の確保

【オリジナルタイトル】

Caring for the carers: Ensuring the provision of quality maternity care during a global pandemic

【着目ポイント！】

1. 産科ケアに関わる医療従事者は COVID-19 感染拡大の状況の中でも女性や新生児、家族に対して必要とされるサービスの継続が求められる。
2. 産科ケアに関わる医療従事者の感情的、精神的、身体的な健康を保つサポートのためにコミュニケーション、感染対策、燃え尽き症候群を防ぐことが必要である。

【要約】

本論文は、オーストラリアの研究者を中心に執筆されたものであり、COVID-19 の影響下において産科ケアに従事する医療従事者に対するサポートについて述べられている。主に、医療従事者に起こる課題、それに対するコミュニケーション、感染予防のための対策、燃え尽き症候群の回避のための対策について記載されている。

具体的には、産科ケアを継続するうえで医療従事者のストレスが増加する可能性があること、感染対策のために産科ケアをビデオ会議などで代替したり、PPE（個人防護具）を使用したりすることがあげられている。また母子に関わる医療従事者の人数はできる限り少なく、固定することが望ましい、と述べている。また燃え尽き症候群については、医療従事者の大きなリスクであり、その回避のために睡眠や食事、運動の確保、感情を表出する機会を設けることに加え、管理者は特に支援を必要とする可能性が高い、と述べている。この状況において、医療従事者は貴重な人材であるために感情的・心理的なサポートは医療機関における業務対応の前・中・後を通して利用可能で、勧められる必要があることも記載されている。

調査者

荒木 智子
((一社) WiTHs/大阪行岡医療大学)

情報刊行日 / 情報調査日

2020 年 4 月 8 日 / 2020 年 5 月 22 日

情報のカテゴリー

産前産後, 医療従事者向け

情報の発信国 / 組織

国際 /
The Australian College of Midwives

URL

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC7141547/pdf/main.pdf>

DOI

10.1016/j.wombi.2020.03.011 [Online ahead of print.]